

1.スタートアップ

- a.通常スタートアップサウンド(スロットルポジション最小):♪567 (3回) - バッテリーのセル数に合わせて ♪57♪57♪57 (例:6セル=6回)。
- b.スタートアップ時にスロットルシグナルが検知できない場合はビー、ビーと繰り返し鳴ります。
- c.スタートアップ時にスロットルポジションが最小値に無い場合はビー、ビー、ビーと繰り返し鳴ります。
- d.ESCが正常に起動した場合はグリーンが点灯します。LEDが点灯しない場合は電圧が9V以下です。(このESCのサポート電圧は3セルから6セル 11.1V-22.2V)
- e.ESCスタート後温度異常を検知した場合(80℃以上)はLEDが赤に点灯します。
- f.スタート時にいずれかのセルが3.6V以下の場合はビー、ビー、ビー、と繰り返して鳴ります。

2.スロットル補正:

送信機のスロットルポジションを最大値にした状態でバッテリーを接続します。約2秒後に音が鳴ります。
♪567 ♪5 ♪6 ♪7, スロットルスティックを一番下へ下げます。完了したら電源を繋ぎなおします。
*補正の場合

3.ESCセットアップ:

送信機のスロットルポジションを最大値にした状態でバッテリーを接続します。
“♪567 ♪5 ♪6 ♪7”のこの音が聞こえたらそのまま待機します。すると“♪5 ♪6 ♪7 ♪1 ♪2”と音が鳴ります。これでセットアップモードに入ります。
a.セットアップモードに入る前にスロットル補正を行ってください。スロットルカーブは0-50-100として下さい。
b.セットアップには5個の基本セットアップと4つのアドバンスドセットアップがあります。基本セットアップはグリーン、アドバンスドセットアップはレッドのLEDが点滅します。
c.短くセットアップボタンを押すことで希望のオプションを選択し、使用する番号をLED点滅、モーターのビーブ音でセットしていきます。
d.スロットルポジションでセットアップポジションの設定変更をします。ボタンを長押しします。希望の項目になったらボタンを離します。グリーンが点灯しているときは基本セットアップ、レッドが点灯しているときはアドバンスドセットアップとなります。♪567 と音が鳴ればオプションが設定された事になります。
e.全ての設定が完了したら電源を取り外してセットアップが完了となります。
f.沢山のセットアップ時間があります。短くセットアップボタンを押さない限り次の項目へは移りません。
g.1つの項目のセットアップをしたい場合でも希望のセットが完了したら電源を取り外しても問題ありません。必ず全ての項目を設定する必要はありません。
**下記の表を参考にセットアップを行ってください。スロットルポジションは送信機のスティック位置です。項目決定時は長押し、次の項目へは短く押します。スロットルポジションに合わせてLED点灯は変わります。スティック位置にて設定を行います。

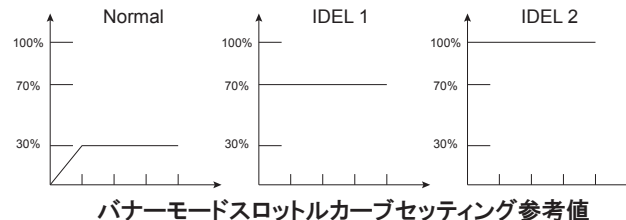
スロットルポジション		スロットルポジション					
		ロー	ロー - ミディアム	ミディアム	ミディアム - ハイ	ハイ	工場 出荷時
基本	PWM動作周波数	8K(Hz)	10K(Hz)	12K(Hz)	14K(Hz)	16K(Hz)	8K(Hz)
	タイミング	5°	10°	15°	20°	25°	5°
	ローボルテージ プロテクション	無	3.0V	3.2V	3.4V	3.6V	無
	スタートモード	通常スタート		ソフト スタート	ソフトスタート - ガバナー		ソフト スタート
	BEC出力	5.5V	5.9V	6.7V	7.3V	8.3V	5.9V
アドバンス	モーターポール	6	8	10	12	14	10
	ガバナー P ゲイン	1%~100%					15%
	ガバナー I ゲイン	1%~100%					15%
	オーバーヒート プロテクション	無		100℃	125℃		無

4.最大回転数の記憶:

初期設定では最大回転数が40,000rpmとなっています。ギア比、KV値もしくはポール数、ESC、電圧変更などを行った場合はESCの設定をリセットし再設定してください。
a.ど最大回転数の記憶の前にスロットル補正が完了してはなりません。スロットルカーブは0-50-100
b.ESCのスタートアップ完了後(グリーンLED点灯)、スロットルポジションを最小値にし、短くセットアップボタンを押します。レッドのLED点灯に変わったら最大回転数記憶モードに入っています。もう一度ボタンを短く押し込むとキャンセルされます。(レッドのLEDが消灯)
c.***注意して作業すること*** ***メインブレードを取り外してから作業を行う事!***
電源を投入し、スロットルを100%まで上げます。そのまま15秒ほど回したらスロットルを0%に下げた後少し待ちます。するとレッドとグリーンLEDが消灯します。これで最大回転数が記録されます。もしレッドとグリーンLEDが消灯しない場合はスロットルが正常に認識されていないかスロットルが100%にする時間が足りなかったかのどちらかです。再度電源を落とし作業を繰り返します。

5.ガバナーモード

ガバナーモードのセットアップに入る前にモーターポール数と最大回転数の記憶作業を完了させてください。
a.ESC基本セットアップ#4:フライモードを”ソフトスタートアップ-ガバナー”にセットします。次回起動時よりガバナーモードとなります。
b.スロットルポジションを変更し、目標とするRPMを設定します。通常はガバナーモードでは下記の様なカーブでセットします。



c.アドバンスドセットアップ、スロットル位置に応じて感度を変更

6.オートローテーションファンクション:

送信機で電源を投入し、スロットルホールドファンクションをスロットル最小値で5%~10%程度にセットします。この位置はモーターはストップしますが、ソフトスタート位置には入りません。
a.飛行中誤ってスロットルが最小値に来た場合、すぐにソフトスタートは起動しません。スロットルポジション5秒以上最小値にある場合はソフトスタートアップが起動します。

7.注意事項

- a.飛行時にローボルテージプロテクション設定値よりも電圧が低くなった場合出力は半分となります。これはユーザーにローボルテージである事を知らせるためにこのような動作となります。
- b.飛行時にオーバーヒートプロテクション設定値よりもESCの温度が上昇した場合出力は半分となります。これはユーザーにオーバーヒートを知らせるためにこのような動作となります。

8.概略図

